

おかやま 河川だより

「平成18年7月豪雨」による出水(速報)

水防活動状況
総社市古地地区

高梁川

出水状況 総社市宍粟付近

排水ポンプ車稼働状況
岡山市中原地区

平成18年7月15日から7月19日にかけて山陰地方に停滞していた梅雨前線が、7月19日未明に南下し、岡山県では断続的な大雨となりました。特に梅雨前線南下時に岡山県北部では、降り始めからの雨量が300mmを越える記録的な大雨となりました。

この大雨の影響で、岡山三河川では平成に入って最大規模の洪水になり、数カ所で浸水被害が発生しました。岡山河川事務所では岡山市や総社市からの要請により、浸水被害の軽減を図るため、排水ポンプ車を出動させました。

また、岡山県内では死者1名の人的被害や、建物全半壊4棟、一部破損10棟、床上浸水13棟、床下浸水66棟などの住家被害が発生しました。(7月26日15:00現在:岡山県危機管理課調べ)

注)この広報(号外)は速報としてとりまとめたもので、後日数値等の一部修正や追加をすることがあります。



吉井川



旭川



高梁川

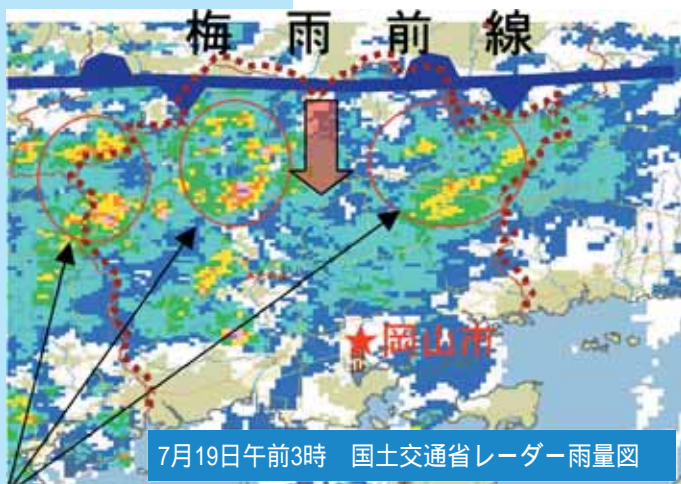
岡山河川事務所
国土交通省 中国地方整備局

気象状況

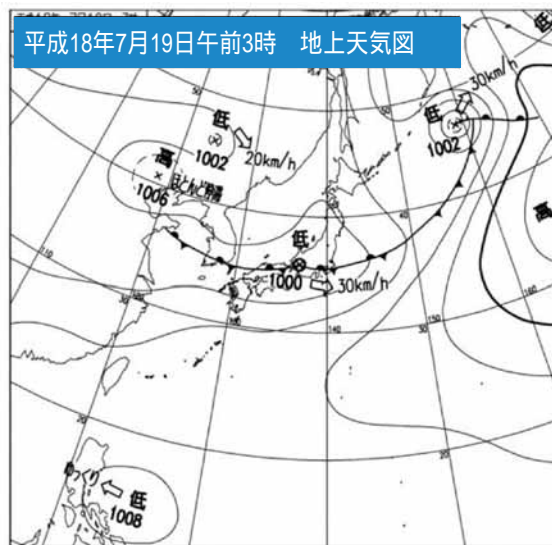
西日本に停滞していた梅雨前線上に小規模の低気圧が発生し東進しました。このため、梅雨前線の活動が活発になり、前線の南側に暖かく湿った空気が強い西風に運ばれて次々と流入し、活発な積乱雲のかたまりを発生させました。特に岡山県では19日の前線南下時に、北部で強い雨が降り、降り始めからの雨量が多いところで300mmを超える大雨となりました。気象庁のアメダス統計によると、**新見市の千屋で、72時間雨量が観測史上1位を更新**しました。なお、この大雨は気象庁によって「平成18年7月豪雨」と命名されました。

吉井川流域平均	220.7mm(最大値	くらみ 倉見	281mm)
旭川流域平均	207.5mm(最大値	とみ 富	243mm)
高梁川流域平均	196.6mm(最大値	おぬか 小奴可	341mm)

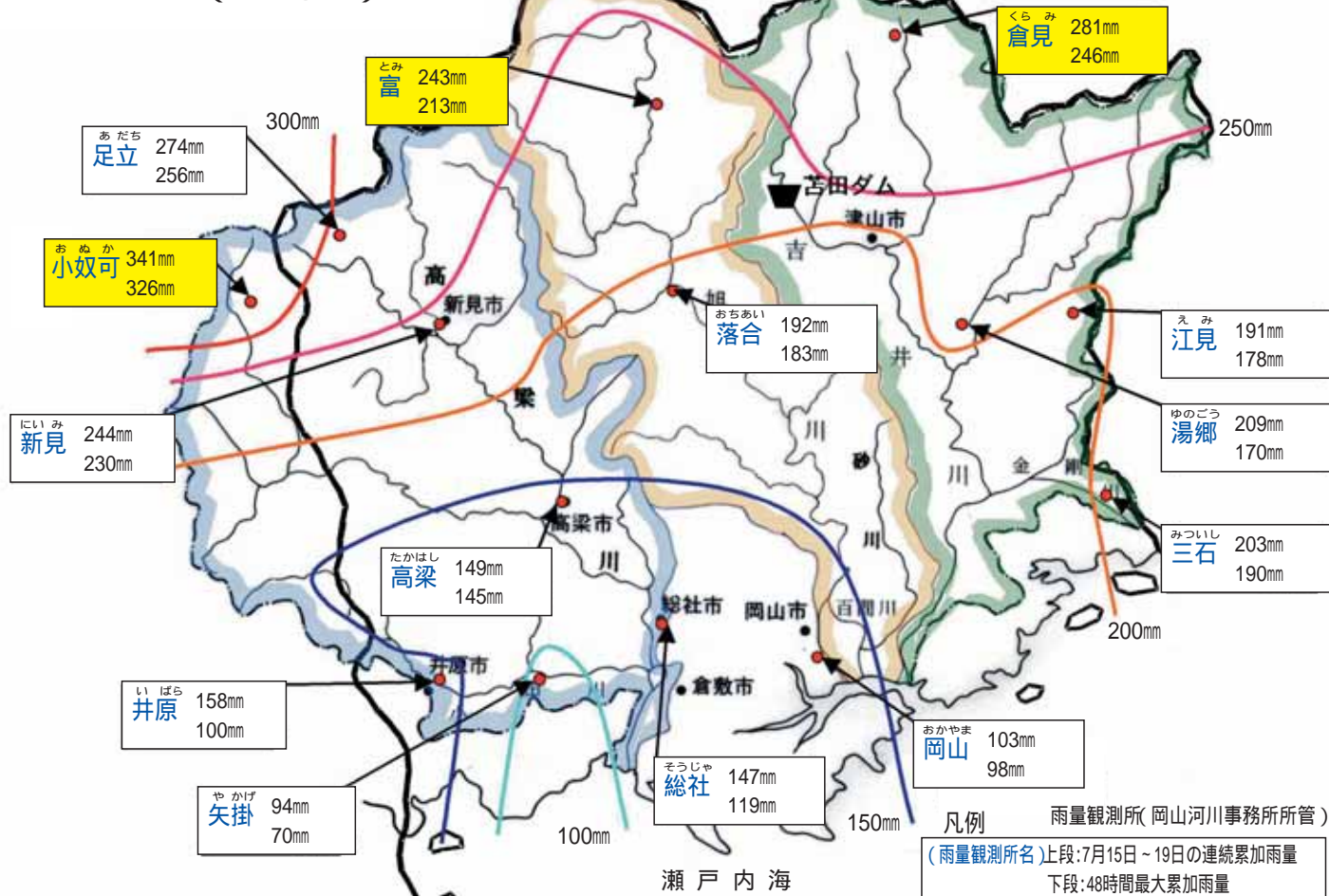
(降水量は、7/15～7/19連続累加雨量、国土交通省岡山河川事務所の観測による)



梅雨前線が南下しながら、活発な雨雲が西から次々と進入



等雨量線図(岡山県)



各河川の水位状況

昭和以降7番目の流量を観測！

吉井川

吉井川の水位は、午前3時頃から急激に上昇をはじめ、わずか5時間後の午前7時50分には通常の水位を7m以上上回る水位(8.27m和気町津瀬水位観測所)となり、**昭和以降で第7位**となるピーク流量4,547m³/sを記録しました。

台風による洪水が多いという特徴をもつ吉井川ですが、梅雨前線の大雨による洪水では、昭和47年7月に次ぐ大きな出水となりました。

吉井川 津瀬(つせ)水位観測所



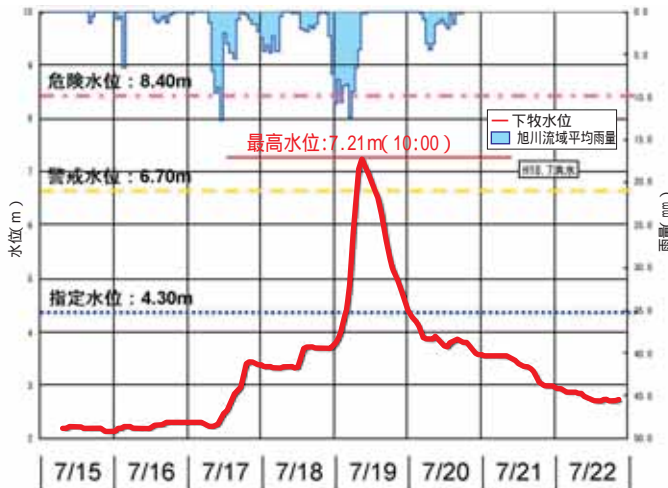
百間川への分流が発生！(昭和以降5番目の流量)

旭川

旭川の水位は、午前4時頃から急激に上昇をはじめ、約6時間後の午前10時00分には通常の水位を5m以上上回る水位(7.21m岡山市下牧水位観測所)となり、**昭和以降で第5位**となるピーク流量3,324m³/sを記録しました。このほか、岡山市三野の三野水位観測所でも警戒水位を超え、危険水位まであと24cmとなる緊迫した状況となりました。

また、平成16年以来、平成になって3回目となる百間川への分流(約350m³/s)が発生し、百間川橋水位観測所では、警戒水位まであと7cmに迫る観測開始以降2番目となる水位(4.53m)を記録しました。

旭川 下牧(しもまき)水位観測所



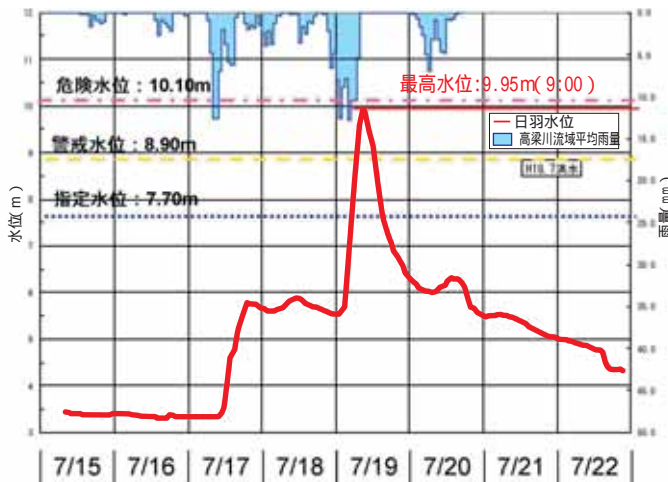
平成で最大の洪水に！(危険水位まであと15cm)

高梁川

高梁川の水位は、午前4時頃から急激に上昇をはじめ、わずか5時間後の午前9時00分には危険水位まであと15cmに迫る水位(9.95m 総社市日羽水位観測所)を記録し、緊迫した状況となりました。

また、**昭和以降では5番目**となる流量4,474m³/sを観測し、**平成に入ってから、最大の洪水**となりました。

高梁川 日羽(ひわ)水位観測所



吉井川・旭川・高梁川の被害

各河川の国が管理している区間において数カ所の浸水被害が発生しましたが、大きな被害はありませんでした。今回の洪水と同程度であった昭和47年7月梅雨前線での被害と比較すると、河川改修事業の効果もあり浸水被害等は激減しています。
 (昭和47年7月 浸水面積 708.9ha 平成18年7月 浸水面積 14.3ha)

吉井川・旭川・高梁川の出水状況

(いずれも7月19日午前9:00頃撮影)



吉井川 和気町の和気橋付近



旭川 岡山市今在家百間川分流堰



高梁川 総社市水辺の楽校 神在付近



1 総社市の川辺橋右岸付近で堤防からの漏水が発生し、家屋1棟が床下浸水しました。



2 総社市の川辺橋左岸付近の宅地や田畑で基盤漏水(ガマ)42箇所が発生しました。



3 岡山市中原地区で内水により、床上浸水(1棟)、田畑等の浸水(2.8ha)が発生しました。
 岡山市からの支援要請を受け、排水ポンプ車を派遣し、内水被害の早期解消に貢献しました。



4 岡山市西中島地区で旭川の増水により、家屋4棟が床下浸水しました。



5 赤磐市熊山地区で内水被害が発生し、県道佐伯長船線が通行止めになりました。消防団のポンプが活躍し、被害の早期解消に貢献しました。



6 赤磐市熊山地区、和気町田原地区などで内水により、田畑等の浸水(合計11.5ha)が発生しました。



排水ポンプ車の活躍で浸水被害が軽減しました

岡山河川事務所では、岡山市、総社市等からの排水ポンプ車の派遣要請により、浸水被害が発生した箇所に排水ポンプ車を派遣しました。

吉井川



吉井川では、赤磐市徳富地区の支川で内水被害の恐れがあるため、排水ポンプ車(毎分60m³)1台を出動させました。総排水量約4万9千m³(25mプール約164杯分)の排水を行い、浸水被害を最小限に食い止めました。

稼働時間 13時間40分

旭川



岡山市今在家地区の中原川で内水被害が発生し、排水ポンプ車(毎分30m³)2台(うち1台は高梁川からの応援)を派遣しました。これにより総排水量約2万8千m³(25mプール約90杯分)の排水を行い、浸水被害の早期解消に貢献しました。

稼働時間 15時間50分

高梁川



総社市日羽地区の県管理区間で内水被害が発生し、排水ポンプ車(毎分30m³)1台を派遣しました。これにより総排水量約5千m³(25mプール約16杯分)の排水を行い、浸水被害の早期解消に貢献しました。

稼働時間 2時間30分

みんなの VOICE



国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所
みんなのVOICE係

〒700-0914 岡山県岡山市鹿田町2丁目4番36号
Tel.086-223-5101(代表) Fax.086-222-7835
ホームページ <http://www.okakawa-mlit.go.jp/>